



「災害」とまで言われるようになってしまった異常気象。

都心部ではヒートアイランドの影響などにより、この100年で3度以上気温が上がったそうです。ご存知の通り、特に今年の夏は7月から高温となり、健康にも影響が出てしまうほどになっています。

これから夏休みを利用し、レジャーなどを楽しまれるご家庭は、健康に留意して楽しんでいただきたいと思います。



プールあそび



お知らせしていますように、酷暑のため、お子さんの健康を優先し、プールは週に1度、金曜日とさせていただきます。遊ぶ時間やその日の気象によってもプールあそびがなくなることもありますのでご了承ください。

また、疲れの出やすい時期ですので早寝をし、一日の疲れを次の日に残さないよう、気を付けてください。



- 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ。
- ほめてあげれば、子どもは、明るい子に育つ。
- とげとげした家庭に育つと、子どもは、乱暴になる。
- 子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる。
- 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る。

「けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる」

子どもは、スポンジのように親の言葉や行動のすべてを吸収し、学びます。親がまねてほしくないと思っていることも、覚えてしまいます。ですから、もし、わが子のことだけでなく、他人や世の中にも不満だらけで、いつも文句ばかり言っていたとしたらどうでしょうか。子どもは、そんな親から、人をけなすことを覚えてしまうでしょう。そして、自分自身のこと責めるようになってしまいます。物事のいい面をではなく、悪い面を見て生きていけと、子どもは教わってしまうのです。

不満だらけの親の気持ちは、ものの言い方や、ちょっとした仕草や目つきに現れます。相手に不満があるときには、自然に目つきや物言いがきつくなるものです。小さな子どもは、こういう親の態度にとっても敏感で、傷つきやすいものです。たとえば、「もう寝る時間ですよ」という一言にしても、言い方次第で、まったく違った意味をもちます。いつも子どもにイライラしている親は、「なにをぐずぐずしているんだ」という非難をこめて、この一言を発するでしょう。子どもは、自分が責められていることを感じとります。そして、自分は愚図なのだと思ってしまうのです。もちろん、わたしたちはだれでも、時には不機嫌になることがあります。つい小言や文句を言いたいときもあるものです。けれども、いつも不平不満を口にし、人の欠点をあげつらっているとしたら、話は別です。親がいつもそんなふうだとしたら、家の中は暗くとげとげしくなってしまうでしょう。家庭を、そんな場所にはしたくないものです。家庭とは、子どもがのびのびできる安らぎの場であるはずで、そんな家庭をつくるのが親の役目ではないでしょうか。

「子どもが育つ魔法の言葉」より、抜粋



8日(水) 集金日

(衛生消耗費、教育充実費)

22日(水) 集金日(時間外保育料)

30日(木) 誕生会

31日(金) 避難訓練

プール終了

お知らせ

★虹だよりで誕生日のお子さんの紹介を載せていましたが、8月より、クラスだよりでお知らせします。

★8月17日(金)のプールはお休みです。